

「京都府子ども・子育て応援プラン（仮称）」に係る
パブリックコメントの意見概要

資料2

1 パブリックコメントの期間

令和元年12月19日（木）～令和2年1月9日（木）

2 結果

5団体 8個人 から30項目の意見

3 主な意見

項目	意見の概要
子育てに対する意識や行動変容の促進	ワークライフバランスにおける支援や制度について、各企業へ広く周知するとともに、経済団体とのより一層の連携を図ってはどうか。
	本プランについては、子育て環境の日本一を目指す京都府が本腰を入れて、少子化や子育ての状況を分析し、多面的に支援方略を検討したプランとして評価できる。実施にむけての手續きに期待。
	0～2歳の保育料が高いので午前中だけでも無料にし、全ての子どもの入所を認めるくらいの思い切った政策が必要。
	子どもをもちたいと感じ、子育てに憧れを抱くような世相をつくることが重要であり、社会全体が子育てを応援する風土が重要。
	結婚後のサポート体制など、安心して結婚～出産～子育てが出来る事を分かりやすく紹介してはどうか。
出会い・結婚の環境づくり	不妊治療など現行法に定めのないことでも労働者が働きながら取り組めるよう柔軟な対応ができる社会になってほしい。 育児のメインは女性が行う実態があるように感じられるので、子育ては両親で行うものであるという意識や子育てを両親が行うことの具体的メリット（子の発育に影響がある等）を広く発信いただきたい。
	ライフデザインを描くことができる機会の提供は、若者だけでなく婚活をしている方にも必要ではないか。
妊娠・出産の環境づくり	婚活マスターについては、旧態依然とした家制度の継承とならないよう活動内容について幅広い展開を望む。
	家庭訪問や見守り支援において、支援者が相互理解し円滑に協力・推進するため、立場や役割の違い等について研修を行えないか。
子育ての環境づくり	学校、家庭、地域の協力体制、地域ぐるみの支援を具体的に実現することが重要。地域の高齢者を活用できるのではないか。
	NPO等に対して継続的な自由度の高い財政支援があれば、地域を主体とした子育ての環境づくりが進むのではないか。
	人材不足企業とのマッチングの仕組みの構築について、積極的に進めていただきたい。
子どもが健やかに育つ環境づくり	子育てに係る不安や悩み等の相談場所を見いだせない方も増えているのではないか。当事者本人の意識改革も必要であるが、きっかけや居場所づくりといったことも重要であるため、具体的な施策展開を期待。
	保育士等への処遇改善も含め、保育人材等の確保・質の向上に、全力で取まらいたい。
子どもが健やかに育つ環境づくり	障害のある子どもへの支援においては、乳幼児期は、1人の子どもに対する1人の保育士の配置が必要。小学校低学年においても、追加配置の制度を作り、充実させることが必要。
	隠れ貧困という言葉があるかはわからないが、多様化した社会で、様々な事情によって子どもが犠牲になることがあってはならないため、記載されている様々な取組が具体的に進むよう期待。